F-40

# スタジアム新設によるクラブの移転が地域に及ぼす影響に関する研究 -ジェフユナイテッド市原・千葉の事例をもとに-

## Effects of Club Relocation Due to New Stadium on the Community **Based on JEF UNITED ICHIHARA CHIBA**

○鎌田琢己¹, 小木曽裕², 山﨑晋² \*Takumi Kamata<sup>1</sup>, Yutaka Kogiso<sup>2</sup>, Shin Yamazaki<sup>2</sup>

Abstract: Japanese Professional Football League "J-League" Starts in 1993. Now that 26 Year have Past. The Football Club Increased from 10 Clubs at the Opening to 55 Clubs. Although Only 3,4 Games are Played at the Stadium at Most in a Month. Focusing on the relocation from this, Considering the impact of the relocation on the theme of JEF United Ichihara Chiba who moved from Ichihara City to Chiba City. A Questionnaire Survey was Conducted for Residents and Workers Near Ichihara Ryokuchi Rinkai Stadium. The Impact of Relocation on the Area was Investigated for Areas with Clubs that may Move in the Future.

## 1. 背景・目的

日本のプロサッカーリーグであるJリーグは1993年 の開幕から26年が経ち,クラブ数も開幕時の10クラブ から J1,J2,J3 で 55 クラブと増加してきた.クラブに欠か せないものとして,ホームスタジアムが挙げられる.同 じ球技でも野球とは異なり月に多くても 3.4 試合しか 行われない.そのスタジアムは時代とともに老朽化問 題や規模拡大、Jリーグのライセンスを満たすため、改築 そして新設が必要となり各クラブは,施設水準の対応 が求められており,サッカーに関する改修・新設・移転 の構想は28件ある<sup>[1]</sup>.その中から移転に着目し,Jリーグ 開幕より参加しており市原市から千葉市に移転したこ とから他の移転構想にて手本とされているジェフユナ イテッド市原・千葉(以下ジェフ)を題材とし移転に おける地域への影響を明らかにし,今後クラブ移転す る場合の考慮すべき点を考察することを目的とする.

## 2. ジェフユナイテッド市原・千葉の概要

1949年に古河電工サッカー部として発足しJリーグ 開幕に合わせ JR 東日本と共同出資で市原市をホーム タウン<sup>[2]</sup>とし,市原緑地臨海競技場(Figure 1) (以下市原 緑地)(現ゼットエーオリプリスタジアム)をホームスタ ジアムとしたジェフユナイテッド市原が発足し た.2002 年日韓ワールドカップ後に市原緑地が他のス タジアムとの見劣りが酷く.観客動員も落ち込んでい





1日大理工・学部・まち2日大理工・教員・まち

| Table 1 Survey Overview |                        |
|-------------------------|------------------------|
| 調査対象                    | 市原緑地周辺住民・就労者(Figure 3) |
| 調査方法                    | 郵送により返送                |
| 配布期間                    | 2019年8月13.14日8月21.22日  |
| 配布数                     | 1000 部                 |
| 回収期間                    | 2019年8月13日~8月31日       |
| 回収数                     | 134 部                  |

13.4%

| Table 2 Questionnaire Item |                   |
|----------------------------|-------------------|
| 回答者属性                      | 性別・年齢・職業・居住年数     |
|                            | スタジアム来歴・移転経緯の理解度  |
| 移転後の変化                     | 移転の成功・失敗          |
| 12 12 12 12 12             | 市原時代と比べての活気       |
|                            | 移転したことによる変化       |
| 現状と対応                      | 移転後のホームタウンとしての満足度 |
| 200107476                  | 移転後に必要だと思われる対応    |
|                            |                   |

たため、対応が求められた.しかしジェフと市原市には 改修に必要な費用を払えず,改修は断念となった.時を 同じくして千葉市の市長は市民向けのスタジアム建設 を進めていた.それを知ったジェフは、Jリーグの要求を 満たしたスタジアムの建設の依頼をし、ジェフのホー ムタウン広域化と合わせて J リーグ開催基準を満たす スタジアムに計画を変更した[3].2005年にフクダ電子ア リーナ(Figure 2)は開場し観客動員も移転当時のJ1から J2 に降格してしまっているが市原時代よりも増加して いる.フクダ電子アリーナ完成以降は市原緑地でトッ プチームの試合は行われていない.

### 3. 調査方法

回収率



gure 3. Survey Scope Ichihara-Shi Rinkai 出典: Google Map 加工

市原緑地の近隣の住 民・就労者に対してアン ケート調査を実施した。 調査の概要は(Table 1) の通りである.アンケー ト調査項目に関しては (Table 2)の通りである.

### 4. 結果と考察

### 4-1 属性

属性は男性と女性の割合は 55%と 45%でほとんど 差がなく,年齢としては 10 代,20 代,30 代と合わせて 12%,40代,50代,60代はそれぞれ 25%ずつ 70代以上も 15%と中高年から高齢者の回答を多く集められた.

## 4-2 移転による日常への変化

「生活や仕事へ移転が影響を与えたのか」の回答から見ると、変化があったという回答で最も多いのは交通量(22 件)で渋滞や混雑がなくなったという回答だった(Figure 4).しかし、一方で人の流れがなくなったという回答やユニフォームを着たサポーターを見なくなって寂しいと感じる回答もあった。また、試合が市原緑地で開催されないことで市外からのサポーターがこなくなったこともあり近隣商店への収益を心配する回答など危機感も見受けられた。直接は影響はなくても影響を受けているのではないかと考えられる.

### 4-3 近隣にとって移転は成功だったのか

多くの人はジェフの移転がどうだったか判断できないという結果となった.ジェフのサポーターであると回答した人とサポーターではない人と比べるとサポーターの方の 40%が移転は成功したと回答しており(Figure 5)その理由としては主に,専用のスタジアムになったことや駅からのアクセスが向上したこと,新しいスタジアムの近隣に商業施設があったことが挙げられる.これより,市原緑地での試合開催時の回遊性や利便性に問題があったことが示唆された.

### 4-4 移転後のホームタウンとしての魅力

移転された市原緑地近隣の居住者・就労者は90%を超える人がホームタウンとしての魅力を感じていないと回答しており(Figure 6),回答の中には

N-109

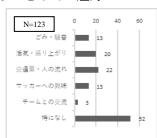


Figure 4. Changes to Daily Life

10.1%3.7

N=129 サポーター 20.0% 20.0% 40.0% 5.0% 15.0%

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 10 ■ 成功した ■ どちらかといえば成功 ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば失敗 ■ 失敗だった

56.0%

Figure 5. Relocation Advisability × Supporter

「ホームタウンとして何をしているのかまるで見えない」という意見もあり,多くの市民がジェフのホームタウンとしての魅力を感じていないことがわかった.

## 4-5 移転後に必要だと思われる対応

市原緑地を利用していたジェフが移転したために、スポーツを問わず新しいクラブ・イベントなどの誘致や市民に向けたサービスの拡大を求める回答(28 件)が多く見受けられた(Figure 7).一方,移転後に地域リーグに所属する VONDS 市原が使用していることもあり,サポートを求める回答や特に変化を求めない回答(8 件)もあった.

## 5. 今後の課題

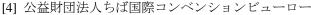
本研究は移転から時間が経過している中,市原緑地の近隣で生活している人々への影響を調査することを目的とした.その中で最も深刻なのはホームタウンであることを魅力として感じられていないことである.クラブや市も広報をしているが,まだ十分とはいえなかったことが示唆される.ホームタウンとしてこれからも共に歩んでいくならば,クラブと市と住民が連携をはかる仕組み作りが必要と考える.また現時点で移転後に求められる対応は,クラブと市が移転元のスタジアムを軌道に乗るまでサポートし,スタジアムの運営は利用の誘致や一般利用ができるように見直して負の遺産とならないような対応が求められる.今後は,運営側やクラブに対してヒアリング調査を行うなどして多方面の視点から本研究を進めたい.

#### 6. 参考文献及び脚注

[1] [スポーツ庁, スタジアム・アリーナ改革の推進 2018]

[2] ホームタウン: クラブと地域社会が一体となって 実現する、スポーツが生活に溶け込み、人々が心身の 健康と生活の楽しみを享受することができる町

[3] ジェフユナイテッド株式会社:「JEF UNITED ICHIHARA CHIBA 1991-2011 20<sup>th</sup> ANNIVERSARY BOOK」, pp.36,94 ,2011



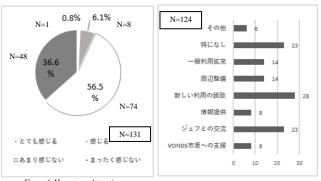


Figure 6. Hometown Attraction

Figure 7. Necessary Action